

お腹すいたー！と、夕方元気に帰ってきた10歳の我が子に異変があったのは、夕飯を食べ始めて間もなくでした。流行りのインフルエンザにでもかかったのかと思い、すぐに寝かせ、翌日起床。ベッドから起き上ると、ふらつき、歩行のバランスが全くとれません。内科、耳鼻科、脳神経外科と医者の指示通りに検査に行きましたが、原因がわかりませんでした。翌日、脳神経外科医の紹介状を持参し、大きな総合病院に出向くと、すぐに入院となりました。血液検査の結果から、息子のマイコプラズマ抗体が、通常の30倍以上高くなっているという結果から、急性小脳失調症と診断されました。この私が初めて耳にした病名は、高すぎる抗体が、小脳細胞や神経と交叉反応を起こし、本来、敵ではない自己細胞を敵と勘違いして攻撃してしまい、小脳症状が発現するという病気だという事でした。入院当初、2週間の入院予定でしたが、めまいがだいたいおさまった頃に、病院にお願いして退院し、自宅療養とさせてもらうことにしました。横になつていれば、元気でしたが、普段より、頭がすぐに疲れてしまいやすかつた事と、歩行感覚が全然戻らず、バランスが全く取れない状態でした。数週間後、車いすで学校に通えるようになりましたが、人の支えや、歩行器なしでは、歩行は無理でした。いつも健康で体育会系の息子は、これといった病気もほとんどせず、風邪などひいても1、2日で治ってしまうような子でしたので、1カ月以上も、普通に歩けないとという状態には、本当に悩みました。何か、もっと悪い病気じゃないんだろうか？このまま歩けなくなってしまうんじゃないかなと…毎日スポーツで汗を流していた息子は、サッカー、テニスどころか、一人で学校に行く事もできません。病院から、薬が与えられるわけでもわけでもなく、待つしかないという事で、息子が一番大変なのですが、出かけるときには、常に私が付き添わなければならないという生活状態が続き、母子家庭の為、仕事にも支障が出てきたりと、ほとほと困り果てていました。

とにかく、息子をもとの姿に早く戻してあげよう！深夜までネットで病気や、治療機関などについてとにかく調べまくりました。

そこで、偶然見つけたのが、堂島針灸接骨院さんで行われていた、新脳針です。

藁にもすがる気持ちで電話し、学校帰りに、お友達のお母さんにランドセルを預かってもらい、地下鉄で40分ほどかけて、堂島針灸接骨院さんの門をくぐりました。

治療を施していただき、先生がカーテンの外に出た瞬間、息子が言いました。

「ママ、あの先生、天才やな！」 「え、なんで？よくなつた？」 「すごく、バランスが変わったよ。」 「治療台に座ったままの状態なのに、わかるの？」 「うん。わかる。違う。すごくよくなつた！」

その翌日でした。まだ多少ふらつきは、ありましたが、かなり長い距離を突然一人で歩けることができるようになっていたのです。「ママ、俺、今日、自転車に乗れると思う。」「え？まだ危ないんじゃない？」 「絶対、乗れそう。大丈夫。」 息子は自転車に乗り始めました。

連休明けの3日後、子供は一人で歩いて学校にいけるようになったのです。

担任の先生も、お友達もあまりの急な回復に本当にびっくりしていました。

2度目の治療後、歩行感覚はさらに完全なものとなり、生活していくには全く支障がないほどに回復しました。その1週間後には完全にサッカーに復帰することができました。

本当に指をパチンとクリックた瞬間、魔法をかけられるみたいな事って、世の中にあるものだなというものが、私の素直な感想です。大きさではなく、自分の子供の身体が結果として、私の目の前で証明しています。

今、あんなに悩んだ日々はなんだったのだろうと、つい最近の事なのですが、懐かしくさえ思う毎日です。堂島針灸接骨院の諸先生方、息子を助けていただき心より感謝しております。有り難うございました。